

今回の交流体験実習は、本校
が誇る3学年の精鋭12名が

発行：新潟北高等学校

23053020

5月下旬に県立幼稚園で行われた春の遠足に幼稚園職員の
補助として参加し、自分の役割を認識し、園児の安全の見守りを
行いながら交流に励む姿を目の当たりにし、「北高生！ここにあり！」
という感を持ったのは私だけではあるまい。



また、当日は北高校生12名が、園児たちの安全の見守りを手伝えることを前提に、幼稚園では初めて、年少さんが春の遠足に参加するとお聞きした。行き先は遊具の充実した山の下みなとランド。ここを選ぶときも、北高校生の手伝いが期待できることが大きな要因の一つと伺った。オンリーワンスクール推進事業も3年目を迎え、交流体験実習に臨む生徒たちの真摯な取組みが着実に評価されていると改めて認識させられた。

交流体験実習～H23.5.24〈春の遠足〉

山の下
みなとランド



「大きなお船、穴に入って遊べるぞ、たのしいねえ～」 「じゅんばんにあそぼーね」



「みんなで遊ぶのって、たのしいねえ〜」「あっ、先生も滑って…」



「ねー高校生のお姉さん、こんどは鬼ごっこであそぼー」「さーて、何鬼にしようか…」

遊具での遊びを満喫した園児たちは、北高校生との交流を働きかけてきた。ここが交流体験実習の見せ場。園児たちが求めているものを受け止め、次の活動の方向を示し、手際よく園児たちを動かしてゆく。さすが北高校3年生と私の方が勉強させられた。

このあと、鬼ごっこが始まった…鬼はもちろん高校生お姉さんであった。(^^)v

この広報は、新潟北高等学校ホームページ

http://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top_gakkou.htmlにも掲載しています。

